

グローバル人財育成事業

京都企業と連携した
次代の京都を担う人財の育成事業

年次報告書

GLO₂AL

Glocal Human Resources Development Center

特定非営利活動法人グローバル人材開発センター

目次

I.事業概要	p.1
--------	-----

II.活動概要	p.3
---------	-----

III.プロジェクト紹介	p.7
--------------	-----

1. 数珠の輪プロジェクト（株式会社意匠京念珠板倉）
2. 食の学び舎プロジェクト（株式会社きたやま南山）
3. つなぐ場プロジェクト（株式会社カケザン）
4. 未来のお茶プロジェクト（株式会社福寿園）
5. GLOCAL×佐々木酒造 京都酒造ツアープロジェクト（佐々木酒造株式会社）
6. UUUUUUUM と支えるプロジェクト（東邦電気産業株式会社）
7. 未来の街を掘り起こすプロジェクト（京都信用金庫 東山支店）
8. GLOCAL WINTER PBL CAMP～モノづくり企業のキャッチコピー～（株式会社大東技研）
9. GLOCAL WINTER PBL CAMP～魚屋さんの新しい採用～（株式会社西浅）
10. GLOCAL WINTER PBL CAMP～グローバル企業のキャッチコピー～（生田グローバル株式会社）

活動写真集

I.事業概要

Ⅰ.「京都企業と連携した次代の京都を担う 人財の育成事業（略称：グローバル人財育成事業）」概要

1.背景

京都市は、38の大学と短期大学が集まり、人口の約1割近くに相当する14万人を超える学生が学ぶ、大学のまち・学生のまちである。大学や学生は、都市として持続・発展していく活力をもたらす、貴重な財産であると考え、京都市では、大学政策を都市政策として取り組んできた。

また、今の社会情勢や経済界からの要請を考えると、大学で学ぶ専門性と社会を結び付けていく、しっかりとした人財を世に送り出すことが求められている。

こうした状況から、本事業は、京都市の大学政策の基本指針である「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2014－2018」における、「学生の進路・社会進出の支援」でのリーディング施策として位置づけられていた。

2.趣旨・目的

大学や国籍の枠を超えた留学生を含む学生を、グローバルな視点と地域（ローカル）の発展を支える情熱を併せ持った「グローバル人財」(注1)として育成するとともに、学生と企業がお互いを知る機会を創出することを目的とする。具体的には、多様な主体からなる学生チームによる、京都企業との骨太な連携プロジェクト（PBL型）(注2)を実施する。このプロセスを通じて、明日の京都を支える人財を育成する。

- ① グローバル人財の育成
- ② 学生と企業の出会いの機会創出
- ③ 学生へのグローバルかつ実践的な協働経験の創出

(注1) グローバル人財：グローバルな視点と地域（ローカル）の発展を支える情熱を併せ持つ人財

(注2) PBL:アクティブラーニングに位置づけられる実践的教育手法
Project Based Learning（課題解決型学習）

II.活動概要

II.活動概要

■概要

グローバル人材育成事業を受託した、特定非営利活動法人グローバル人材開発センター（以下、略称：グローバルセンター）が、企業と連携した PBL（課題解決型学習）型プロジェクトの開発・運営を行った。企業が抱えている課題を、企業とグローバルセンターがともにプロジェクト化し、大学の垣根を越えた学生の混合チームで取り組んだ。チームは留学生を含む大学生・大学院生による 5 名程度のチームで構成されており、学生はプロジェクトを通じて、社会における実践的な力を養い、連携企業についての知識はもちろんのこと「働く」や「仕事」について深く学び、考えるマインドを身に付けた。プロジェクト開始時に京都企業に関するレクチャーを実施し、企業を見る目を養い、日々の企業との連携から京都企業の魅力を体感し、京都企業の魅力を知る機会が創出されるよう、プロジェクトの設計を行った。

プロジェクト設計

- ① **社会人としての基礎力、ジェネリックスキルの養成**
- ② **「企業」「仕事」「働く」の本質を捉えながら熟考**
- ③ **ダイバーシティ（多様性）を活かすグループワーク**

<特徴>

- ・ PBL型プロジェクト（学生が連携先からの課題に取り組む）
- ・ 5名程度の日本人学生、留学生の協働チームでの取り組み
- ・ 企業へのインタビュー、京都企業に関するレクチャーを必須

これからの社会と企業活動はますますグローバル化し、かつボーダレス化していく。本事業では、こうした将来の社会を見据え、学生時代から、多様な文化的背景・社会的背景を持つ主体から構成される集団において、リーダーシップ・フォロワーシップの経験を積むことができるよう、プロジェクトの開発・運営を進めた。

令和 3 年度<参加人数・プロジェクト数>

参加学生

67人



日本人学生 53人
留学生 14人

実施プロジェクト数

10プロジェクト

8年間（H26～R3年度）の実績

参加学生数・プロジェクト数

参加学生数

509人

日本人学生 402人

留学生 107人

プロジェクト数

82プロジェクト

※グローバル人材育成事業は平成26年度から開始され、令和3年度に8年目を迎えた。

参加学生の所属大学一覧

計 24大学・大学院

【大学】

- ・ 大谷大学
- ・ 京都大学
- ・ 京都先端科学大学
- ・ 京都外国語大学
- ・ 京都工芸繊維大学
- ・ 京都産業大学
- ・ 京都情報大学院大学
- ・ 京都女子大学
- ・ 京都精華大学

- ・ 京都造形芸術大学
- ・ 京都橘大学
- ・ 京都府立大学
- ・ 京都文教大学
- ・ 花園大学
- ・ 同志社大学
- ・ 同志社女子大学
- ・ 佛教大学
- ・ 龍谷大学
- ・ 立命館大学

- ・ 京都経済短期大学
- ・ 京都外国語短期大学
- ・ 光華女子大学
- ・ ノートルダム女子大学
- ・ 京都嵯峨芸術大学

【大学院】

- ・ 京都産業大学大学院
- ・ 京都大学大学院

※順不同

連携・協力先＜企業・団体＞

67企業・団体

京都信用金庫
株式会社ケービデバイス
株式会社ブリッジコーポレーション
和晃技研株式会社
京都高度技研研究所（ASTEM）
京都朱雀ロータリークラブ
NPO法人クリエイター育成協会
株式会社美京都
株式会社太鼓センター
都タクシー株式会社
株式会社大垣書店
岩井木材株式会社
株式会社リーフ・パブリケーションズ
株式会社CRETARIA
株式会社特殊高所技術
株式会社レドネスタ
京都観光オープンデータ協議会
有限会社中小企業診断所エス・ピー・シー
日新電機株式会社
株式会社丸嘉
西垣金属工業株式会社
東邦電気産業株式会社
生田グローバル株式会社

叡山電鉄株式会社
株式会社フラットエージェンシー
株式会社フーズジャパン
佐々木酒造株式会社
京都オスカークラブ
株式会社ドレスクリエイト
NPO法人 OUEEN JAPAN
株式会社三笑堂
株式会社ビジネスプラスサポート
株式会社メディアエージェンシー
株式会社フジタ
株式会社川勝總本家
株式会社キャミー
株式会社worldlink & company
株式会社世代継承活学社
増田産業有限会社
株式会社ヒューマンフォーラム
株式会社OPA
株式会社ライフ住宅販売
株式会社タナベ
株式会社伴戸商店
株式会社大東技研

株式会社陶あん
株式会社エクスクラメーション・スタイル
株式会社誉勤商店
株式会社サン食品
西南ロータリークラブ
堀川と堀川通りを美しくする会
京都中小企業家同友会
株式会社ジーユー
京料理 二傳
株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所
株式会社坂製作所
株式会社クレバー
三浦仏像彫刻所
丸太町地区飲食店9店舗
株式会社たまゆら
株式会社アグティ
一般社団法人京都試作ネット
株式会社意匠京念珠板倉
株式会社きたやま南山
株式会社カケザン
株式会社福寿園
株式会社西浅

※順不同

Ⅲ.プロジェクト紹介

	プロジェクト名	連携企業
	数珠の輪プロジェクト	株式会社意匠京念珠板倉
	食の学び舎プロジェクト	株式会社きたやま南山
	つなぐ場プロジェクト	株式会社カケザン
	未来のお茶プロジェクト	株式会社福寿園
	GLOCAL×佐々木酒造 京都酒造ツアープロジェクト	佐々木酒造株式会社
	UUUUUUUMと支えるプロジェクト	東邦電気産業株式会社
	未来の街を掘り起こすプロジェクト	京都信用金庫 東山支店
	GLOCAL WINTER PBL CAMP モノづくり企業のキャッチコピー	株式会社大東技研
	GLOCAL WINTER PBL CAMP 魚屋さんの新しい採用	株式会社西浅
	GLOCAL WINTER PBL CAMP グローバル企業のキャッチコピー	生田グローバル株式会社

①数珠の輪プロジェクト

連携企業：株式会社意匠京念珠板倉



■実施時期
2021年7月～9月

■参加者 合計：7名

京都産業大学（1名）
同志社大学（2名）
立命館大学（4名うち1名留学生）

■学生への課題

京念珠 板倉が受け継いできた「想い」を、
次代につなぎ続けるためのアイデアを提案せよ！

■概要

「念珠を持つ人の幸せを願い、その人のお守りとなるように念じて作る」という想いで念珠の製造卸をされている京念珠 板倉」と一緒に、京念珠の技術と板倉の想いを未来に残すための取り組みを学生目線で考え提案するプロジェクト。

■プロジェクトの結果・学生の学び

京念珠 板倉の想いを若者に伝えるアイデアとして、観光用の着物サービスと連携し数珠をアレンジしたアクセサリーを提供するアイデアや、社長である辰尾さまの講演＋ワークショップの企画アイデアの提案を行った。

学生は京都の伝統工芸を手がける板倉から、時代が変われど大切に受け継いでいく想いと、想いを受け継いでいくために変化をし続ける柔軟な京都企業の魅力を学んだ。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査

Think

アイデアを出す
発想する

企業訪問

課題解決に係るインタビュー

アイデアブレインストーミング

課題解決策のアイデア出し

Create

形にする
創造する

企画立案

新しい数珠の可能性に関する企画立案
資料作成

企画のブラッシュアップ

追加調査
提案資料のブラッシュアップ

Act

実行する

最終報告

新しい数珠の可能性について提案
企業から学生へのフィードバック

②食の学び舎プロジェクト

連携企業：株式会社きたやま南山



■実施時期

2021年7月～9月

■参加者 合計：6名

京都産業大学（1名）

同志社大学（1名）

立命館大学（4名うち1名留学生）

■学生への課題

「食を通じて人が学ぶ場」の活用法のアイデアを提案せよ！

■概要

「かざらない肉本来のおいしさを。」大切にしながら、食と農と人をつなぐ架け橋として飲食業にとどまらず「食育」まで手がけておられるきたやま南山と一緒に、現在準備中の「食を入口に個と社会の課題を探究する」場づくりを、学生目線で考え提案するプロジェクトです。

■プロジェクトの結果・学生の学び

「食」を入口に小学生～高校生が学び探究する場創りのアイデアとして、「食を伝える＆人を育てる」をテーマとしたイベントの企画を提案した。

企画としては、自分たちが食べている食べ物がどこから来たのかを生産者の方から学ぶイベントや食と美容という切り口のイベントを提案した。

学生は、社会課題解決や社会にとって必要とされる企業のビジネスについて触れ、京都企業の特徴でもある自社の利益だけでなくまちづくりや人づくりの側面を学んだ。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査

Think

アイデアを出す
発想する

企画立案

食育イベント・学びの場づくりの
企画立案

Create

形にする
創造する

ワークショップ

担当者を交えてのグループワーク

Act

実行する

企画のブラッシュアップ

追加調査

最終報告

食育イベント・学びの場づくり
について提案
企業から学生へのフィードバック

③つなぐ場プロジェクト

連携企業：株式会社カケザン



■実施時期
2021年9月～12月

■参加者 合計：7名

京都産業大学（1名）
同志社大学（2名内1名留学生）
龍谷大学（1名）
立命館大学（3名内1名留学生）

■学生への課題

「コロナ禍の今、学生と社会人が繋がり、
未来について語り合える新たな場」を
企画・提案せよ！！

■概要

人が出会いたくさんの個性とアイディアで新しいものが生まれる
会社として、パブという人の行き交う業態で、地元の人々と国内外
からくる観光の方々のコミュニティーの輪を広げられるような店づく
りをされているカケザンと一緒に、
学生の社会人の交流の場としてのイベントを企画し、
実施するプロジェクトです。

■プロジェクトの結果・学生の学び

社会人と学生の就活以外の場での出会いをテーマに、
カケザンさんの運営するパブを会場に社会人と学生がお互いの悩み
を相談することができる交流イベントを開催した。

学生は、企業と一緒に企画立案から募集、実施までを通して
体験したことで、一つの企画を実施するために多くの人に関わり、
京都企業のつながりや関係性を大切にする姿を目の前で体感し、
その大切さを学んだ

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査

Think

アイデアを出す
発想する

企画立案

企業と学生の交流イベントの企画

Create

形にする
創造する

ワークショップ

担当者を交えてのグループワーク

Act

実行する

企画のブラッシュアップ

追加調査

イベントの実施

企業と学生の交流イベントの実施
企業から学生へのフィードバック

④未来のお茶プロジェクト

連携企業：株式会社福寿園



■実施時期

2021年11月～2022年3月

■参加者 合計：6名

京都産業大学（1名）

京都文教大学（2名）

同志社大学（1名）

京都芸術大学（1名）

京都情報大学院大学（1名）

■学生への課題

これからのシニア世代の新常識となる
「お茶」のアイデアを提案せよ！

■概要

茶を「CHA」と捉え、C・H・Aを通して、文化（Culture）健康（Health）、快適（Amenity）を創り出すティーライフ産業へ挑戦されている福寿園と一緒に、これからのシニア世代に必要とされる「お茶」のアイデアを、学生目線で考え提案するプロジェクト。

■プロジェクトの結果・学生の学び

シニア世代に向けた新しいお茶のアイデアとして、「茶まで箱」という孫が生まれてから成人するまで熟成させるプーアル茶の提案や、お茶に触れる機会を増やすための「お茶カフェ」の提案を行った。

古くから京都に根付くお茶の文化を歴史や地理、ビジネスといった様々な視点から考えたことで、文化を残すことの大変さや、それをビジネスを通じて実現することの難しさを学んだ。

また、日常的に触れ、当たり前になっているお茶について、京都企業の取り組みを間近に見たことで、100年を越える歴史ある企業だからこそ持つ文化を守る使命の重要性を学んだ。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査
お茶についての調査

Think

アイデアを出す
発想する

企画立案

新しいお茶の企画立案

Create

形にする
創造する

中間報告

企画の途中経過を報告

Act

実行する

企画のブラッシュアップ

追加調査

最終報告

新しいお茶の企画提案
企業から学生へのフィードバック

⑤GLOBAL×佐々木酒造 京都酒造ツアープロジェクト

連携企業：佐々木酒造株式会社



■実施時期

2021年12月～2022年3月

■参加者 合計：7名

京都産業大学（1名）

京都女子大学（2名）

立命館大学（4名内1名留学生）

■学生への課題

ツアーがより良くなるためのアンケート項目を作成し、アンケートの結果を踏まえて、今後につながるツアーのアイデアを提案せよ！

■概要

1893年に創業された京都洛中の作り酒屋「佐々木酒造」と一緒に、京都の料理屋さんや酒造をめぐるツアーやツアーをより良くするための参加者アンケートを考え提案するプロジェクト。

■プロジェクトの結果・学生の学び

若い世代に向けた酒造ツアーを考えるため、ツアー参加者の興味関心を知るための紙アンケートと、SNSを利用した20代、30代向けのお酒や酒造ツアーに関する意識調査アンケートを実施した。

紙アンケート35件、SNSアンケート167件の回答から、若い世代は日本酒を通じた「食」の体験という「コト」を、「日常的に」楽しむための知識を求めているのではないかと考え、日本酒と料理のマッチング講座やカクテル講座を加えたツアーを提案した。

アンケートの結果や佐々木酒造との連携から、学生は、京都企業だからこそ持つブランド力は、企業の日々の小さな努力や顧客に寄り添った取り組みから生まれてるということを学んだ

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査
京都の観光について調査

Think

アイデアを出す
発想する

企画立案

京都酒造ツアーの企画

Create

形にする
創造する

アンケート分析

アンケートの分析

Act

実行する

企画のブラッシュアップ

追加調査

最終報告

京都酒造ツアーの提案
企業から学生へのフィードバック

⑥UUUUUUUMと支えるプロジェクト

連携企業：東邦電気産業株式会社



■実施時期
2022年3月

■参加者 合計：6名

京都精華大学（1名）
佛教大学（留学生1名）
龍谷大学（2名）
立命館大学（2名内1名留学生）

■学生への課題

施工管理の仕事を体験し理解することができる
ゲームキットのアイデアを考え提案せよ！

■概要

電気設備工事や工場インフラ整備といった建築設備工事を通じて、私たちの豊かな社会をう〜んと支えてくださっている東邦電気産業株式会社と一緒に、施工管理の仕事を体験し理解することができるゲームキットのアイデアを考え提案するプロジェクト。

■プロジェクトの結果・学生の学び

インフラを支える仕事の高齢化とメンテナンスが必要なインフラ案件の増加という担い手不足の課題や、施工管理の仕事の複雑さ、それをやり遂げたことの達成感から、やりがいポイントや突発的なイベントを組み込み、実際の現場に近い状況を体験しつつも仕事の楽しさを感じることができるというコンセプトのすごろく形式の施工管理体験ゲームを提案した。

学生は、社員の皆様と一緒にワークショップを体験したことで、よりリアルな現場感を持った仕事との向き合い方や、言葉からにじみ出る自信から、普段目にする機会のない電気設備工事の施工管理の仕事が社会を支える重要な仕事であることを学んだ。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査

Think

アイデアを出す
発想する

アイデアブレインストーミング

課題解決策のアイデア出し

Create

形にする
創造する

ワークショップ

企業とのグループワーク

Act

実行する

企画のブラッシュアップ

企業からのフィードバックを受け
企画の修正

最終報告

ゲームキットのアイデアの提案
企業から学生へのフィードバック

⑦未来の街を掘り起こすプロジェクト

連携企業：京都信用金庫 東山支店



■実施時期
2022年3月

■参加者 合計：10名

京都女子大学（1名）
同志社大学（1名）
立命館大学（8名内1名留学生）

■学生への課題

東山地区のフィールドワークを通じて、
学生目線で魅力や課題を発見し
未来の街のためのアイデアを提案せよ！

■概要

泉涌寺、東福寺、三十三間堂、京都国立博物館など観光名所が多いまち東山区に支店を構える京都信用金庫 東山支店と一緒に、未来の東山区を多様な人が利用するより良いまちにするために学生目線で魅力あるまちづくりや将来の課題、今から出来る改善策を一緒に考え提案するプロジェクト。

■プロジェクトの結果・学生の学び

東山地区のフィールドワークや地域住人の方とのワークショップ、地域のことを知り尽くした京都信用金庫の職員さんのお話の中から、観光だけではなく、そこに住む子供や高齢者が元気な街こそが未来に続く街であるというコンセプトを考えた。そこで、20代、30代のファミリー層に向けたお店の展開に関する提案や、公園を利用した住みよい街づくりを提案した。

学生は最初、まちづくり＝観光産業の発展や、SNSを利用した町おこしというイメージをもっていたが、地域住人の方のお話やフィールドワークを通じて、その地域の歴史や文化、土地の魅力に合ったまちづくりや住人目線でのまちづくりこそが、未来に続く、持続可能な地域社会に繋がることを学んだ。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査

Think

アイデアを出す
発想する

フィールドワーク

東山地区をフィールドワーク

アイデアブレインストーミング

課題解決策のアイデア出し

Create

形にする
創造する

ワークショップ

京都信用金庫・東山地区の住人の皆さま
とのグループワーク

企画のブラッシュアップ

企業からのフィードバックを受け
企画の修正

Act

実行する

最終報告

東山地区を盛り上げるアイデアの提案
企業から学生へのフィードバック

⑧GLOBAL WINTER PBL CAMP～モノづくり企業のキャッチコピー～ 連携企業：株式会社大東技研



■実施時期

2022年2月28日～年3月4日

■参加者 合計：6名

京都工芸繊維大学（1名）

同志社大学（1名）

立命館大学（4名内1名留学生）

■学生への課題

企業の魅力を発見し、
企業の魅力や特徴を表現したキャッチコピーや、
新たな採用手法のアイデアを提案せよ！

■概要

京都企業3社と連携し、企業の魅力や特徴を表現したキャッチコピーや、新たな採用手法のアイデアを5日間で学生チームが提案する、短期集中インターンシップ型の課題解決プロジェクト。

■プロジェクトの結果・学生の学び

ミッションである「技術×アイデア×センス」と、
制度の高い金属加工の技術力、さらに人中心のモノづくりの姿勢から、
「私、こだわり創ってます」というキャッチコピーを提案した。

工場見学の際には、工場の明るさや、清潔感、また黒地に赤文字のユニフォームという他社との違いを感じ、モノづくり企業へのイメージの変化が起こった。

学生は、京都のモノづくり企業の製品を実施に手で触れ、目を見たことで、そのレベルの高さや精密さを感じた。多品種少量生産や社員一人ひとりの技術力の向上に力を入れる姿から、中小規模だからこそできる地域企業の魅力を学んだ。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査

Think

アイデアを出す
発想する

企業訪問

課題解決に係るヒアリングを実施

Create

形にする
創造する

企画立案

キャッチコピーの企画

中間報告

企画の途中経過を報告

Act

実行する

企画のブラッシュアップ

追加調査

最終報告

キャッチコピーの提案
企業から学生へのフィードバック

⑨GLOBAL WINTER PBL CAMP～魚屋さんの新しい採用～ 連携企業：株式会社西浅



■実施時期

2022年2月28日～年3月4日

■参加者 合計：6名

京都大学（1名）

京都産業大学（1名）

立命館大学（4名内1名留学生）

■学生への課題

企業の魅力を発見し、
企業の魅力や特徴を表現したキャッチコピーや、
新たな採用手法のアイデアを提案せよ！

■概要

京都企業3社と連携し、企業の魅力や特徴を表現したキャッチコピーや、新たな採用手法のアイデアを5日間で学生チームが提案する、短期集中インターンシップ型の課題解決プロジェクト。

■プロジェクトの結果・学生の学び

ホンモノの産地直送、お魚第一主義など、丁寧に人間関係を築きながら漁港の漁師さんとお客様をつなぐ姿勢や仕入れを社員一人ひとりの判断に任せる中小企業ならではの仕事に触れた。

新たな採用方法として長期インターンシップの「人も魚も釣ってしまえ西浅革命」というテーマで「魚を知る、人を見る、伝統を伝える」の3つの軸を体験できる取り組みとし、西浅について共感するところから始める採用方法を提案した。

学生は社員中心の会社作り、ビジネスづくりこそが、持続可能なビジネスとしてこれからの社会に必要なビジネスであることを知り、京都の地域企業だからこそ取り組むことができる可能性を学んだ。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査

Think

アイデアを出す
発想する

企業訪問

課題解決に係るヒアリングを実施

Create

形にする
創造する

企画立案

新しい採用方法の企画

中間報告

企画の途中経過を報告

Act

実行する

企画のブラッシュアップ

追加調査

最終報告

新しい採用方法の提案
企業から学生へのフィードバック

⑩GLOBAL WINTER PBL CAMP～グローバル企業のキャッチコピー～ 連携企業：生田グローバル株式会社



■実施時期

2022年2月28日～年3月4日

■参加者 合計：7名

京都女子大学（1名）
佛教大学（留学生1名）
立命館大学（5名）

■学生への課題

企業の魅力を発見し、
企業の魅力や特徴を表現したキャッチコピーや、
新たな採用手法のアイデアを提案せよ！

■概要

京都企業3社と連携し、企業の魅力や特徴を表現したキャッチコピーや、新たな採用手法のアイデアを5日間で学生チームが提案する、短期集中インターンシップ型の課題解決プロジェクト。

■プロジェクトの結果・学生の学び

「地球国籍という現実的な夢」というキャッチコピーを提案した。
「地球国籍」という言葉で、国籍が気にならない世界を創るという会社のビジョンや理念を表現し、地球国籍という壮大な言葉と、時勢に敏感で将来を冷静に見つめている企業イメージを「現実的な夢」という言葉で表現した。

また「現実的な夢」という言葉で、企業訪問の際に感じた情熱的、挑戦的であるが柔軟、謙虚、思慮深いという社風を表現した。

グローバルな社会だからこそ国籍にとらわれず、人と人、文化と文化をわかり合うことの大切さを学んだ。

プロジェクトの流れ



Join

メンバーに加わる

キックオフミーティング

メンバーとの顔合わせ

Research

企業の魅力を知る
業界を知る
社会を知る

企業・業界研究

京都企業について調査

Think

アイデアを出す
発想する

企業訪問

課題解決に係るヒアリングを実施

Create

形にする
創造する

企画立案

キャッチコピーの企画

Act

実行する

中間報告

企画の途中経過を報告

企画のブラッシュアップ

追加調査

最終報告

キャッチコピーの提案
企業から学生へのフィードバック

プロジェクト活動写真集



グループワークの様子



企業訪問の様子①



企業訪問の様子②



企業訪問の様子③



イベント準備の様子



企業と学生の交流イベントの様子

プロジェクト活動写真集



企業訪問の様子①



フィールドワークの様子①



フィールドワークの様子②



フィールドワークの様子③



グループワークの様子①



グループワークの様子②

プロジェクト活動写真集



キックオフミーティングの様子①



企業と学生の
グループワークの様子①



企業と学生の
グループワークの様子②



企業と学生の
グループワークの様子③



グループワークの様子①



グループワークの様子②

プロジェクト活動写真集



企業訪問の様子①



企業訪問の様子②



企業訪問の様子③



最終報告会の様子①



最終報告会の様子②



最終報告会の様子③

京都企業と連携した次代の京都を担う人財の育成事業（グローバル人材育成事業）
令和3年度 年次報告書

発行 令和4年3月

編集 特定非営利活動法人グローバル人材開発センター
〒602-8061

京都市上京区油小路中立売西入ル甲斐守町 97 番地

西陣産業創造会館（旧西陣電話局）2 階

☎075-411-5010